

自己評価（前年度）

※「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価」のチェック項目を用いて自己評価しています

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価				
データ 分析 表	データ表		データグラフ	
	内容	項目数		平均
	「乳児保育」	15		4.40
	「3歳未満児保育」	32		4.09
	「3歳以上児保育」	53		3.64
	「教育保育の配慮事項」	16		4.38
	「健康・安全」	29		4.07
	「子育ての支援」	18		4.39
	「職員の資質向上」	9		2.89
	計	172		3.97
総合 評価	子どもたちの成長をそばで感じながら、職員自身も人と関わることで自身の成長に繋がった。職員間で、話し合ったり、よりよい保育を行うために見直しをしたり、環境改善に向けて取り組むことができた。今後も様々な人や物との対話を大切に、日々成長していけるよう努めていきたい。			

事業計画（今年度の重点目標）

項目	内容
発生時の訓練	<p>応急処置（ああかいかいほちょうれんこう）、災害時等の避難、感染症対応などの訓練の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメント委員会を中心に、年間計画を立てて、避難訓練や感染症対応の訓練を実施する
地域への見える化・見せる化	<p>地域に対して法人・施設情報の提供やサービス内容の説明、開かれた（情報開示・提供・公表）仕組みづくりの推進等、地域とのコミュニケーションの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HP・SNSを活用し積極的に情報発信を行ったり、特養花の森に子どもの作品を掲示したり、プロジェクトの見える化・見せる化を図っていく
実習に対する丁寧な対応	<p>福祉を目指す学生の「実習」に対し、明確な目標と適切な指導の下、将来の理想の姿に迎えるように援助し、「信頼」の関係を築く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習担当者と実習生の振り返りの時間を確保し、丁寧な関わりの中で信頼関係を深めていく